高校生議会

高校生が描く「もっと住みやすいふじみ野市」

７月30日に高校生と市議会議員が直接意見を交わす「高校生議会」を開催しました。グループワークや議場での発言を通して、高校生ならではの視点からまちの未来について考えました。

高校生は議会の仕組みについて説明を受けた後、「ふじみ野市を住みやすいまちにするには」と「ふじみ野市に欲しいもの」をテーマに議員とともにグループワークを行った。日頃感じていることや、これからのまちに期待することについて活発に意見を交わした。

高齢者と関わる機会を増やしたい、子どもたちが楽しく過ごせる公園や場所が欲しい、ごみを少なくしたい、といった意見のほか、公共交通の充実や道路整備、市内循環ワゴンふじみん号の利便性向上など、身近な生活に関する提案も出された。一方で、公共施設がきれい、都心からアクセスしやすいなど、まちの良さを評価する声もあった。

最後は、議場での高校生の発表を受けて、議員が講評を行い、それぞれの意見や着眼点について感想を伝えた。

高校生と議員が、ふじみ野市の未来を考える貴重な機会となった。



議場で記念撮影をする高校生と議員

連載企画

子どもたちに聞きました

子どもたちの夢とまちへの思い

ふじみ野っ子の好きなこと・楽しかったこと

ふじみ野っ子まつりに来ていた小学生に、好きな教科やイベントの感想などを聞きました。

Q 好きな教科は何ですか。

A さくさん　社会科が好きです。

A さらさん　図工が好きです。絵を描くのが好きで、地元のお祭りのマスコットキャラクターを描いたこともあります。でも将来はかっこいいので弁護士になりたいです。

Q 今日のイベントで楽しみにしていたことは。

A さくさん　市長とのじゃんけんが楽しかったです。勝ったのがうれしかったです。賞品ももらえました。

A さらさん　私も市長とのじゃんけんです。負けちゃったけど、市長さんの似顔絵を描いて渡せてよかったです。

Q いつも何をして遊んでいますか。

A さくさん　友だちとおしゃべりをしたりしています。

Q ふじみ野市の好きなところは。

A さらさん　いろんな施設に行きますが、勉強できる場所があるのがいいなと思っています。



岩﨑（いわさき） 彩楽（さら）さん



眞栄田（まえだ） 朔（さく）さん

総務・教育常任委員会意見交換会

不登校支援の充実を求めて

不登校児童・生徒の保護者との意見交換会で、経済的支援や進路情報、居場所、保護者支援などについて質問や要望が出されました。

７月29日に行われた意見交換会では、子どもや保護者が抱える様々な課題について、質問や要望が出された。経済的支援では、フリースクール利用料や送迎費、保護者の就労制限などの負担を踏まえた支援制度の検討や、登校状況に応じた給食費の日払い対応などを求める意見や、進路情報を得る機会として、通信制高校やサポート校などを集めた相談会や個別相談の開催、学校内の居場所となる支援ルームの利用可能日程の周知や支援員の充実を求める意見が出された。

さらに、スクールソーシャルワーカーの体制強化、保護者同士がつながり情報交換できる場の確保、学校生活での合理的配慮、健康診断を受けられる仕組み、放課後等デイサービスの利用負担軽減などについても、声が寄せられた。



意見交換会の様子

生活・福祉常任委員会意見交換会

介護予防について意見交換

市立介護予防センターで運営事業者と介護予防の取り組みや利用状況、地域との連携など、今後の取り組みについて意見を交わしました。

6月30日に介護予防センターを視察し、令和7年度に実施した先進地視察や本年第1回定例会での高齢者福祉に関する審議内容の報告及び運営事業者との意見交換会と施設見学を行った。

事業内容や利用状況について説明を受け、運動・栄養・社会参加を柱とした取り組みのほか、利用者同士の交流や菜園ボランティアなど、地域とのつながりを生む活動について理解を深めることができた。

意見交換では、次のような意見が出された。

- 利用者の男女比に差があり、男性利用者の参加促進が今後の課題
- 地域団体や自治会、大学等との連携をさらに広げる必要性
- 40代・50代から健康づくりや食生活、社会参加への意識を育み、介護予防につなげる取り組みが必要
- 体力や時間など、それぞれの状況に応じて参加できる事業の充実



介護予防センターの施設見学